



## 新年のご挨拶



公益社団法人 山鹿法人会

会 長 中 山 清 志

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、山鹿法人会の事業へ積極的なご参加と組織の運営に対して多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますとトランプ関税、香港の火災、日中関係の悪化、大阪・関西万博、九州大雨、熊被害、大分の火災、など国内外様々な出来事がありました。

国内はようやくコロナ禍から脱却し、社会経済活動の正常化が進み、飲食や観光などを中心に、サービス消費や海外旅行者の増加によるインバウンド消費も回復しており、景気も回復基調となっています。

ただ、私ども法人会を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナなどをめぐる地政学的リスクの増大に伴う輸入材の高騰や、ドル高・円安に伴う物価高が大きく社会経済を圧迫しており、安寧できる状況にはありません。

そんな状況の中、平成 25 年 4 月には公益社団法人に移行後、山鹿法人会は、さらに公益性を重視した活動に力を入れております。納税意識高揚のために支部も委員会も精力的に活動し、講演会やセミナーなどは地元の方も対象として地域社会に開かれたものとしており、日頃税に触れ合う機会が少ない児童や生徒に対して、青年部会や女性部会は、小学校出前租税教室を積極展開しております。第 17 回税に関する絵はがきコンクールは、12 校 508 枚の作品応募があり過去最高を更新し、着実に地域に定着して参りました。

その他に、新設法人説明会の開催、令和 8 年度税制改正提言の要望活動。社会貢献活動として所管する小学校に対する教育図書の寄贈や献血なども積極的に実施しております。

会員交流では、「ボウリング大会」、「親睦チャリティゴルフ大会」の開催などの各事業を実施することができています。役員の皆様をはじめ、会員の皆様のご協力に 深く感謝申し上げます。

会員増強については、前記した社会情勢の影響もあって、現在の会員数は 600 社を超えておりますが、会員数の減少が続いています。また、本年は会費の増額に伴い退会者の増加により会員数の減少することが予想されます。つきましては、役員の皆様を中心にお力を借りて会員拡大を図って参りますので本年もより一層のご協力宜しく願います。

私ども「法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」との理念の下、公益社団法人として納税意識の向上と 地域社会の健全な発展に貢献し、法人会活動がさらに活性化するよう、組織一丸となって地域の振興・発展のために尽力、邁進して参りたいと存じますので、税務関係機関の皆様並びに法人会役員さんをはじめ、会員の皆様方の一層のご鞭撻ご協力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、令和 8 年の干支は「丙午（ひのえうま）」。60 年に 1 度巡ってくる稀有な年です。この一年が情熱や行動力が高まり、希望と活気にあふれ、新しい挑戦へ向かって大きく踏み出せる時間になりますように、そんな輝かしい一年になることを心より願っています。

山鹿法人会がより活性化しますように、また皆様の会員企業、会員の皆様のご健勝とご多幸、そして企業の繁栄、地域社会の発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

山鹿税務署長

前 田 康 成

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人山鹿法人会の皆様方に、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

貴会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、地域社会への貢献活動や租税教育活動などに積極的に取り組まれており、社会的にも高い評価を受けておられます。

特に、租税教育活動については、子供たちの心に響く様々な趣向を凝らした「租税教室」の開催、女性部会が実施している「税に関する絵はがきコンクール」及び鹿北まつり内における「税金クイズ」などの開催については、中山会長をはじめ、役員並びに会員の皆様方の御尽力の賜物であり、その熱意ある活動に対しまして敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

令和 6 年度に引き続き令和 7 年度においても山鹿税務署の税務署長を拝命いたしました。

山鹿税務署においては、2 年目の税務署長は 20 年ぶりとなります。これも皆様方との御縁と考えており、引き続き、皆様と連携・協調を図りながら、様々な活動や取組を支援してまいりたいと考えております。

令和 6 年度は、山鹿市公式 YouTube「よへぼちゃんねる」内において、山鹿市の租税教育にかかる取組を紹介する動画を放映し、女性部会が実施している「税に関する絵はがきコンクール」や青年部が実施している「租税教室」の模様を御紹介させていただきました。

令和 7 年度においては、出演者には、生成 AI で作成したイラストで御出演いただき、山鹿法人会の活動 PR を含めた山鹿市における租税教育を紹介する「令和 7 年度 知ってる？ 山鹿市の租税教育」と題した動画を制作しました。

山鹿法人会の皆様方が熱心に取り組まれている租税教育について、当動画を通じて、より多くの方に認知していただけることを期待しています。

放映は、令和 8 年 1 月下旬頃を予定しておりますので、是非御覧ください。

さて、税務行政を取り巻く環境が大きく変化する中で、国税庁におきましては、「e-Tax の更なる普及」に当たり、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現に向けて、マイナポータル連携を含めた e-Tax とキャッシュレス納付の利用拡大を推進しています。

特に、キャッシュレス納付では、納付件数が多い源泉所得税での利用が大変便利で、昨年 3 月から e-Tax による納付をデモ体験できる「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」を国税庁 HP に開設しておりますので、キャッシュレス納付をまだ利用いただけていない事業者の方には、ぜひ体験して頂ければと思います。

また、業務の効率化が期待される法人の添付書類を含めた「ALLe-Tax」、書面よりも手数料が安くなる「電子納税証明書」の普及・定着に向けた取組も推進することとしておりますので、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、新年が法人会の皆様方にとって、大きく飛躍の年となりますとともに、皆様方のなお一層の御健勝と事業の御繁栄を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。